新町保育園の保護者の皆様へ

2022年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である㈱学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

広い園庭でのびのびと遊ぶ子どもたちの姿に、園の保育理念が表れています

広々とした園庭には芝生が敷き詰められ、子どもたちは転ぶことも怖がらずのびのびと遊んでいます。滑り台、鉄棒、ブランコなどなど遊具環境も整えられ、また0、1歳児も安全に遊べるように専用のスペースも用意されています。園の保育の特徴である、専任講師による和太鼓指導、体育指導などもここで行われ、躍動感ある子どもの姿が青々とした芝生に映えています。この光景の中に、園の保育理念「みんななかよく　げんきいっぱい」として目ざす子ども像のそれぞれが、わかりやすく表れています。

保育体制の工夫、日常の子どもとの向き合い方の方針などで、一人ひとりを大切にした保育が実践されています

園では、子ども一人ひとりに向き合った保育を重点的に実践しています。0～2歳児のゆるやかな担当制による少人数の保育、小さな行動一つひとつについても常に言葉を添えるように努めること、子どもの様子や心の動きに寄り添った対応を行うことなどを大切にしています。これらにより、子どもとの愛着、信頼関係を深めているとともに、子ども自身も安定して落ち着きのある行動が見られています。保護者にも、この活動方針と実践の様子が伝わっていて、子ども一人ひとりに寄り添った対応を園の特徴として評価する声が寄せられています。

指示を受けて行うのではなく、子どもが自ら自分の考えで行う姿勢をはぐくむ保育を重視しています

子どもへのかかわり方として、園では子どもの自主性と主体性をはぐくむことを重視しています。各保育室ではおもちゃや本のコーナーを設けて、子どもが自分で取りやすい配置にしています。また、各種活動では子どもが興味、関心を持って自ら進んで取り組みたくなるように工夫をしています。製作においては、自分で考えて作ることの楽しさを感じられるように、職員は子どもの自由な発想を尊重してかかわっています。日常の子どもとの会話でも、子どもがどうしたいか、常に考えを引き出す会話を心がけながら、自主性、主体性を育てています。

さらなる取り組みが期待される点

単年度計画においては、中期計画の展望に沿った具体的な行動計画を期別に策定してはいかがでしょう

園の事業計画としては、施設整備、保育事業、研修関係を柱とした5か年の展望を示す中期計画が作成され、それを基に単年度計画が作成されています。単年度計画については、例えば中期計画に示した内容に対応して、具体的にどのような活動をするかをさらに明確な形で記載し、年度内をいくつかの期に分けて策定するなどのようにしてはいかがでしょう。中期計画の展望の中で、当年度がどのような位置付けになるのか、そのために何を重点的に取り組むかを視野に置き、進捗状況を定期的に振り返りながら実践に取り組める形の計画にされると良いでしょう。

深刻な災害に備えて、事業継続計画（BCP)についてはさらに実効性の上がるような取り組みが望まれます

園では、災害時を想定した事業継続計画（BCP)が作成されています。災害からの全面回復までの各プロセスの活動内容が詳細に示されています。ただし、これらの内容を職員、保護者が理解し、現実に災害が起きた時に計画がうまく機能するようにしていくための取り組みが課題となります。具体的には、BCPの目的、計画内容を保護者にもわかりやすく周知し、計画に対して園との共通意識を持ってもらう事を望みます。また、計画内容の流れに沿った実践訓練の方法を検討し、より災害時の子育て支援、地域貢献につながる備えを期待します。

園は保護者との綿密なコミュニケーションを実践していますが、園の基本的な仕組みなどのさらなる周知を期待します

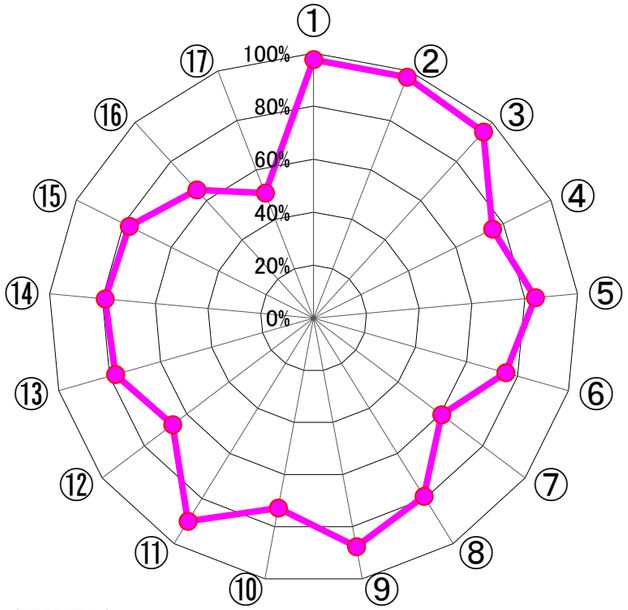
近年のコロナ禍においてさまざまな行動制限がある中で、園は保護者とのコミュニケーションを大切にしています。送迎時の職員による極力の声がけや個人面談、懇談会、保育士体験、ホームページでクラスごとに園生活を写真で紹介するなど、子どもの成長の姿を伝える機会をさまざまな形で設定しています。ただ、保育の様子に比べて園の保育理念や要望・苦情への対応の仕組みなどのような、園の基本的な情報や仕組みについての保護者の認知度は、さらに向上する余地があるといえます。手段を工夫し周知機会を増やすなど、粘り強い取り組みを期待します。

利用者アンケート結果概要

実施期間：2022年8月31日(水)～2022年9月14日(水)　回収率：68.1 %

※9月21日到着分まで集計

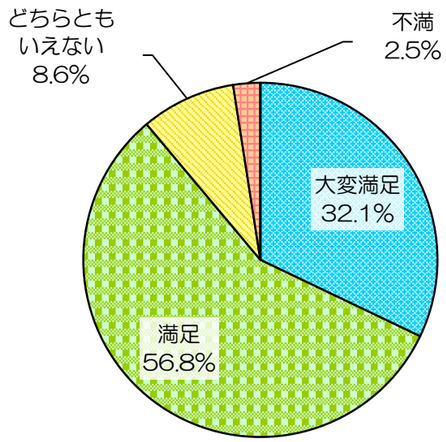
質問別「はい」の回答率



〈質問項目〉

① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
⑩ 職員の接遇・態度は適切か
⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

園に対する総合満足度の結果



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳しい内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）

※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります

「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

利用者アンケートのご協力ありがとうございました。
園に対する満足度は88.9%という数字が出ており、とてもうれしい限りです。
苦情解決の仕組みや、利用者の要望や不満についての回答が低くなっておりました。ご意見箱や第三者委員によるご意見ご要望の仕組みについてなど、皆さんにご理解いただけますよう、改善したいと思います。
まだまだ課題はありますが、子どもたちが楽しく過ごせる場の提供と成長できる保育の提供をしていきます。引き続きご理解ご協力よろしくお願いいたします。

【福祉サービス第三者評価　評価機関】

株式会社学研データサービス　Ｒ＆Ｃ評価事業部
（認証評価機関番号　機構05－149）